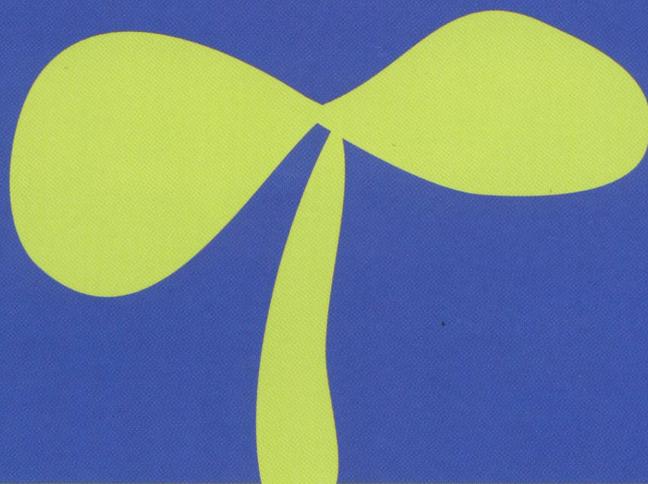


第10回 日本保育園保健学会

保育・保健の向上をめざして

子育て連携の充実

日本保育園
保健協議会
創立10年記念



プログラム・抄録集

The 10th. Annual Meeting of The Japan Society
for Well-Being of Nursery-Schoolers

2004年

10月23^土24^日

東京国際フォーラム ホールC・D

第10回

日本保育園保健学会

日本保育園
保健協議会
創立10年記念

保育・保健の向上をめざして

子育て連携の充実

会期

2004年 **10月23** 土 **24** 日

会場

東京国際フォーラム ホールC・D5

会頭

大木師礎生 千葉県小児科医会顧問
日本保育園保健協議会副会長

主催

日本保育園保健協議会

共催

千葉県小児科医会

後援

厚生労働省・千葉県・柏市・日本医師会・日本小児科学会・日本小児科学会千葉地方会・日本小児保健協会・日本小児科医会・東京都歯科医師会・千葉県医師会・東京小児科医会・全国社会福祉協議会全国保育協議会・日本保育協会・柏歯科医師会・全国保育園保健師看護師連絡会

保育・保健の向上をめざして —子育て連携の充実—

この度、第10回日本保育園保健学会を会員、諸先輩ならびに千葉県小児科医会、東京小児科医会をはじめ関係諸団体のご後援により、東京で開催させて戴くことになり深く感謝致しております。

子育て社会も厳しい背景で、本年発表によれば本邦の合計特殊出生率は1.29となり将来が憂慮され、出生の増加と子どもの健全育成が望まれています。私ども保育関係者にも集団での安全、健康保育のみならず、地域社会ならびに子どもの将来に人として完成されることを期待されています。国でも、その職種の重要性を認識して保育士の国家登録がなされたものと考えています。私どもは、その認識に応えなければならないと思います。

本年は日本保育園保健協議会が日本保育園医協議会の医師の団体から、保育園保健の進展には保育園の各職種の研修、協力が必要との認識から設立して改組10年となります。

協議会（会長 巷野悟郎）は、それを記念して式典なら

第10回日本保育園保健学会

会 頭 **大木師礎生**

千葉県小児科医会顧問
日本保育園保健協議会副会長

びに祝賀会をこの学会で行います。また、創立10年記念事業として各保育団体と連携し、生涯研修制度を、この学会から発足することになりました。

今回の学会のメインテーマも原点に戻り「保育・保健の向上をめざして—子育て連携の充実—」と致しました。

講演はその企画にそってご依頼致しました。特別講演には日本学術会議会員で元国立国際医療センター総長（小児科）鴨下重彦先生に「創造性豊かな次世代を育成するために」と題してお願いしました。また、当会の巷野悟郎会長には「保育保健に期待するもの」をテーマに、東京家政大学助教授 酒井治子先生に、現在、話題の「食育」についてお話を戴くことに致しました。

多くの先生方ならびに会員の皆様方のご支援により、この創立10年記念の学会を実りある会にしたいと祈念致しています。多数の皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

2004年（平成16年）9月

スケジュール

10月23日^土

ホールC

12:30	開場
12:55	開会挨拶 大木師磋生
13:00	会頭講演「保育・保健のあゆみと展望」 大木師磋生
13:30	生涯研修講座 基調講演「生涯研修システムの構築に向けて」 帆足 英一
14:00	研修1「乳幼児の生理機能と病状の理解」 野原八千代
14:40	研修2「事故防止と危機管理」 田中 哲郎
15:20	特別講演「保育の動向と課題」 尾崎 春樹
15:50	一般演題 座長 西牟田敏之（国立病院機構下志津病院 院長） ① 千葉市における保育所と嘱託医の連携 — 2回のアンケート調査および麻疹予防接種率からの検討— 太田 文夫、大浜 洋一、有益 修、木屋 和見、田辺 正紀（千葉市医師会保育所嘱託医部会） ② 病児保育所と予防接種 伊藤 律子（岩手愛児会たんぼぼ病児保育所） ③ 保育園児の流行性疾患罹患と予防接種接種状況 — 広島市内公・私立保育園のアンケート集計より— 永田 忠、篠原 秀久、川上 正仁（広島市医師会学校医部会嘱託医・園医小委員会） ④ 練馬区における麻疹予防接種率向上のための取り組み 宇野 寛子、山北 勝子、金井 サタ子、山田 明美、早乙女 志津子、伊藤 美鈴、堀 恵久美、 高野 幸子（練馬区立保育園）、飯島 健志、浜野 眞理（練馬区医師会保育園医会） ⑤ 従来知られていない、特異な経路でのB型肝炎の集団感染 市丸 智浩、浜崎 雄平（佐賀大学医学部小児科） 山本 匡介（同 内科） 溝上 雅史（名古屋市立大学臨床分子情報医学講座） 逸見 佳美、大山 卓昭（国立感染症研究所感染症情報センター）
16:40	

10月23日[±]

ホールC

舞台を変えるためしばらくお待ちください

17:00 開場

17:30 開式

創立10年記念式典

開会の辞 日本保育園保健協議会 副会長（学会会頭） 大木師磋生

挨拶 日本保育園保健協議会 会長 巷野 悟郎

来賓祝辞 厚生労働大臣 坂口 力

日本医師会 会長 植松 治雄

日本小児科学会 会長 衛藤 義勝

功労者表彰

閉会の辞 日本保育園保健協議会 副会長 松本 壽通

司会 好本 恵（アナウンサー・元NHK）

祝賀会ご参加の方は、ホールB5へ移動してください。

ホールB5

受付・クロークはホールB5にもあります

18:30 開場

19:00 開宴

祝賀会（交流会）

ホールB5 レセプションホール

司会 好本 恵（アナウンサー・元NHK）

9:00

一般演題

座長 永井 大介（日本保育園保健協議会 前副会長）

⑥保育者のストレス解消と職場内相談体制に関する研究

西野 美佐子（東北福祉大学）、吉田 隆法、吉田 尋子（福聚保育園）

⑦大阪府保育所保健連絡協議会の30年の歩み

小野寺 芳子、坂本 尚代、飯盛 順子（大阪府保育所保健連絡協議会）

⑧保育所（園）嘱託医との連携—千葉県の一地域における保育所（園）の実態調査から—

本間 美知子、小櫃 芳江、野原 八千代（聖徳大学短期大学部）、所 敏治（聖徳大学人文学部）

⑨子どもの生活習慣病予防対策平塚市の取り組み—5歳では遅すぎる—

伊東 幸子、園田 巖（平塚市子どもの生活習慣病予防対策委員会）

座長 佐々 龍二（昭和大学歯学部小児成育歯科 教授）

⑩柏地区保育園における歯科外傷受傷時のネットワーク構築に関して

赤羽 康彦、石崎 隆弘、染井 啓次、矢部 布志夫、大森 靖（柏歯科医師会）

⑪都市部の保育園における「昼食後の歯みがき」についての実態調査

田中 英一（東京都中野区歯科医師会）

⑫幼児の口臭と生活状況とのかかわり

有木 信子、木村 千枝、岸本 京子、桐山 千世子（作陽保育園）
佐野 祥平（鶴見大学）、前橋 明（早稲田大学）

⑬保育園児のむし歯は本当に増えているか？

井上 美津子、佐々 龍二（昭和大学小児成育歯科）
本間 まゆみ（小児歯科本間医院）

10:40 教育講演 「子ども・家庭・保育所そして地域が連携して進める食育」 酒井 治子

11:10 特別講演 「創造性豊かな次世代を育成するために」 鴨下 重彦

12:00 昼食・休憩

13:00 総会

14:00 会長講演 「保育保健に期待するもの」 巷野 悟郎

14:30

一般演題

座長 川村 周光（東京小児科医会 会長）

⑭保育園児のリスクマネジメント—睡眠を通して考える—

鈴木 久美（全国保育園保健師看護師連絡会）

⑮川崎市保育園における除去食申請方式—実施後10年の現状—

金子 光延、高良 憲光、小関 温子、宮川 桂子、杉浦 宏政
清水 晃、野矢 淳子、隅田 展廣（川崎市医師会保育園医部会）

⑯「保育園を取り巻く現状」に対する保育園嘱託医の意識調査

小島 幸司、隅田 展廣、杉浦 宏政、池田 宏、増田 稔、遠藤 郁夫他
（神奈川県医師会保育園医部会）

15:20 公開シンポジウム 「保育、保健の連携について」

一般演題

9:00

座長 吉田 隆法 (日本保育園保健協議会 常任理事)

⑰子ども達により健康的な生活をおくらせるために

—食生活状況調査の結果より、家庭における子どもの生活状況を見直して—

朝日 智子, 北村 歩美, 松井 瞳, 古川 素子 (摂田屋保育園)

⑱園児の問題を保護者がどう捉えているか

北村 歩美, 朝日 智子, 松井 瞳, 古川 素子 (摂田屋保育園)

座長 植松 紀子 (こどもの城 臨床心理士)

⑲幼い頃の夢の記憶に関する研究—印象に残った夢は何か—

吾田 富士子, 南部 春生, 笠原 昇一 (北海道保育園保健協議会)

⑳地域子育て支援センター10年のあゆみ

—子育てサロン「こあらルーム」を実施して—

鍋島 佳代子 (柏市役所 保育課)

座長 伊藤 謙吾 (日本保育園保健協議会 常任理事)

㉑パンフレット「子どもと伝染病」の利用状況

穴倉 迪彌, 堀野 清孝, 中山 雅之, 出村 守, 長野 省五 (札幌市医師会 夜間急病センター)

㉒子育て支援事業への保健職のかかわり

下岡 真子, 足立 法子 (京都市保健福祉局子育て支援部保育課)

㉓病児保育における地域保健活動の検討

今井 七重, 福富 真智子, 榎本 ひとみ, 平林 詩子, 福富 悌 (福富医院すずらん病児保育園)

9:50

座長 松田 光彦 (日本小児皮膚科学会 運営委員)

㉔医療保育士の現状と課題

高橋 みゆき (国立成育医療センター)

㉕浜松市発達医療総合福祉センター内「おもちゃ図書館」における保育士の役割について

上田 紀子, 内藤 由美, 中村 みどり, 宮司 登志江, 亀井 照子

(浜松市発達医療総合福祉センター)

10:40

座長 藤城 富美子 (全国保育園保健師看護師連絡会 会長)

㉖保護者のみかたと保育士の観察を比較して

松井 瞳, 朝日 智子, 北村 歩美, 古川 素子 (摂田屋保育園)

㉗マルチメディア教材を活用した食育教室のとりくみ

古川 素子, 朝日 智子, 北村 歩美, 松井 瞳 (摂田屋保育園)

17:00

次回会頭挨拶 第11回日本保育園保健学会 会頭 南部 春生

閉会挨拶 日本保育園保健協議会 常任理事 兼子 肇

日本保育園保健協議会

開会の辞 ————— 第10回日本保育園保健学会
会 頭 大木師礎生

挨拶 ————— 日本保育園保健協議会
会 長 巷野 悟郎

来賓祝辞 ————— 厚生労働省
大 臣 坂口 力
社団法人 日本医師会
会 長 植松 治雄
社団法人 日本小児科学会
会 長 衛藤 義勝

功 労 者 表 彰

閉会の辞 ————— 日本保育園保健協議会
副会長 松本 壽通



日本保育園保健協議会

創立10年記念式典

場 所 東京国際フォーラム ホールC

日 時 2004年10月23日(土) 17時30分

(但し、17時15分から18時40分頃までホールCの出入りは出来ません)

ごあいさつ

10年にあたって

日本保育園保健協議会

会長 巷野 悟郎

日本保育園保健協議会が発足して本年は10年を迎えます。ここで改めて設立までの経過を振り返ってみると、保育所は戦後間もなく制定された児童福祉法で、保育に欠ける児童を対象とした福祉施設として発足しました。

その後保育所の対象とする子どもが増加し、乳幼児の在園時間が長くなったり、低年齢児保育、病児保育にまでひろがってきました。そこで従来の保育だけではすまされなくなったので、嘱託医の役割が大きくなってきました。これらの問題に対するために昭和62年に全国保育園連絡懇談会(大木師磋生幹事)を発足させ、平成元年に第1回日本保育園医協議会学術集会を開催して、保育保健の充実を図ったのであります。その後6回の学術集会を経て、保育

保健の更なる発展のために、会員を嘱託医に限定しないで保育関係の各職域へと拡大しました。そして現在の「日本保育園保健協議会」と改称し、平成7年11月に第1回日本保育園保健学会を、東京都において開催しました。

顧みれば発足時は会員153名(小児科医)でしたが、現在は3400名となり、職種も保育に関するすべての領域にわたり、保育保健が広く取り上げられるようになりました。学会の発表も今日的な問題がたくさん取り上げられてきて、内容も充実してきました。本年は「次世代育成支援対策推進法」が制定され、将来に向けての新しい子育ての時代を迎えました。日本保育園保健協議会も10年を機に、一層の発展を期したい所存であります。

会長講演
会頭講演

会長講演

24日(日)14時

保育保健に
期待するもの

座長 千葉県小児科医会 顧問 ————— 大木師磋生
日本保育園保健協議会 会長 ————— 巷野 悟郎

会頭講演

23日(土)13時

保育・保健の
あゆみと展望

座長 北海道小児科医会 会長 ————— 南部 春生
第10回日本保育園保健学会 会頭 ———— 大木師磋生

ホール

C

特別講演 教育講演

特別講演

23日^土15時20分

保育の動向と課題

座長 日本保育園保健協議会 常任理事 ———— 遠藤 郁夫
厚生労働省雇用均等・児童家庭局 ———— 尾崎 春樹
保育課 課長

特別講演

24日^日11時10分

創造性豊かな 次世代を育成するために

座長 日本保育園保健協議会 会長 ———— 巷野 悟郎
賛育会病院 院長
元国立国際医療センター 総長 ———— 鴨下 重彦
日本学会議会員（小児科医）

教育講演

24日^日10時40分

子ども・家庭・保育所 そして地域が連携して 進める食育

座長 福岡県小児科医会 会長 ———— 松本 壽通
東京家政学院大学 助教授 ———— 酒井 治子

ホール

C

生涯研修講座

ホールC 23日(土) 13時30分

公開シンポジウム

ホールC 24日(日) 15時20分

基調講演

生涯研修システムの構築に向けて

【座長】広島大学医学部保健学科 教授———田中 義人
日本保育園保健協議会 学術部委員長 —帆足 英一

研修1

乳幼児の生理機能と病状の理解

【座長】徳山大学福祉情報学部 教授———安斎 芳高
聖徳大学短期大学保育科 教授———野原八千代

研修2

事故防止と危機管理

【座長】千葉県医師会保育所嘱託医部会 顧問 —木屋 和見
国立保健医療科学院 生涯保健部 部長 —田中 哲郎

保育、保健の連携について

—保護者、園長、看護師、
嘱託医、報道の立場から—

【司会】日本保育園保健協議会 副会長———菅原 重道
保護者代表———普光院亜紀
園長の立場———村松 憲子
看護師の立場———権田 縁
嘱託医から———遠藤 郁夫
報道から———南 砂

(10月24日(日)15時20分からの参加は自由で、
参加費、参加資格は不要です)